環境経営レポート

活動期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

2023 年度

2024 年 5 月 27 日作成

株式会社エーケーダイカスト工業所

目 次

1　環境経営方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2　組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

１）事業所名及び代表社名
２）所在地
３）環境管理責任者氏名及び連絡先

3　事業内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

4　事業の規模　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

5　対象範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

6．環境経営組織図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

7．環境経営目標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

8．環境経営計画(次年度の取組内容)　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

9．環境経営目標及び環境経営計画の実績･取組結果の評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・5

9-1 環境経営目標の実績

9-2 環境経営計画の取組結果と評価

１０．環境関連法規等の遵守状況の確認　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

10-1.主な環境関連法規

10-2 環境関連法規への違反，訴訟等の有無

１１．代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

１.環境経営方針

株式会社エーケーダイカスト工業所は，経営における課題とチャンスを踏まえるとともに，ダイカストの生産活動における環境影響を認識し，継続的環境改善活動を通じて，地球環境の保全に貢献します.

１.当社の事業活動が与える環境負荷と取組みの成果を的確に把握し，事業活動にふさわしい以下の環境活動を実施します.

① 地球温暖化防止のために，省エネルギーに努め，二酸化炭素排出量の削減に取り組みます.

② 廃棄物の削減・リサイクルを推進します.

③ 水資源（排水量）の削減に取り組みます.

④ 製品ロスを減らす運動に取り組みます.

⑤ 化学物質の適正管理に努めます.

２.環境経営目標を設定し，毎年見直しを行い，環境経営システムを継続的に改善すると共に自主的，積極的に環境への取組みを行い，継続的な環境負荷の削減に努めます.

３.環境に関する法令や条例，その他規制を受ける事項を遵守します.

４.全従業員が環境経営方針を理解し，自らの役割を十分に認識して，本方針に沿って活動が行われるよう環境教育を実施する事により，全従業員に周知すると共に一般にも「環境経営レポート」で公開します.

2024 年 4 月 1 日

社長　甲斐 修平

2.組織の概要

1）事業所名及び代表社名

株式会社エーケーダイカスト工業所　　代表取締役　社長　甲斐　修平

エーケー産業株式会社　　代表取締役　社長　甲斐　修平

2）所在地

株式会社エーケーダイカスト工業所

本　社　〒170-0013　東京都豊島区東池袋 1-25-2　朝日生命池袋ビル 7 階

工　場　〒355-0812　埼玉県比企郡滑川町大字都 25-6　東松山工業団地 6-7

エーケー産業株式会社

機械部　〒355-0812　埼玉県比企郡滑川町大字都 25-6　東松山工業団地 6-7

3）環境管理責任者氏名及び連絡先

氏　名　環境管理室　室長　　森　浩一

連絡先　〒355-0812　埼玉県比企郡滑川町大字都 25-6　東松山工業団地 6-7

電話番号　0493（56）4161

Fax 番号　0493（56）4245

Ｅ－mail　mori@akd-group.com

3.事業の内容

精密小型亜鉛ダイカスト･アルミダイカスト（自動車部品，精密機器，電気通信機器製品)の製造，関連製品の金型の設計･開発及び製造.

4.事業の規模

事業所	従業員数	延べ床面積
本　社	２名	２７㎡
工　場	43 名	２，３００㎡
エーケー産業（機械部）	５名	工場内に所在
合　計	50 名	２，３２７㎡

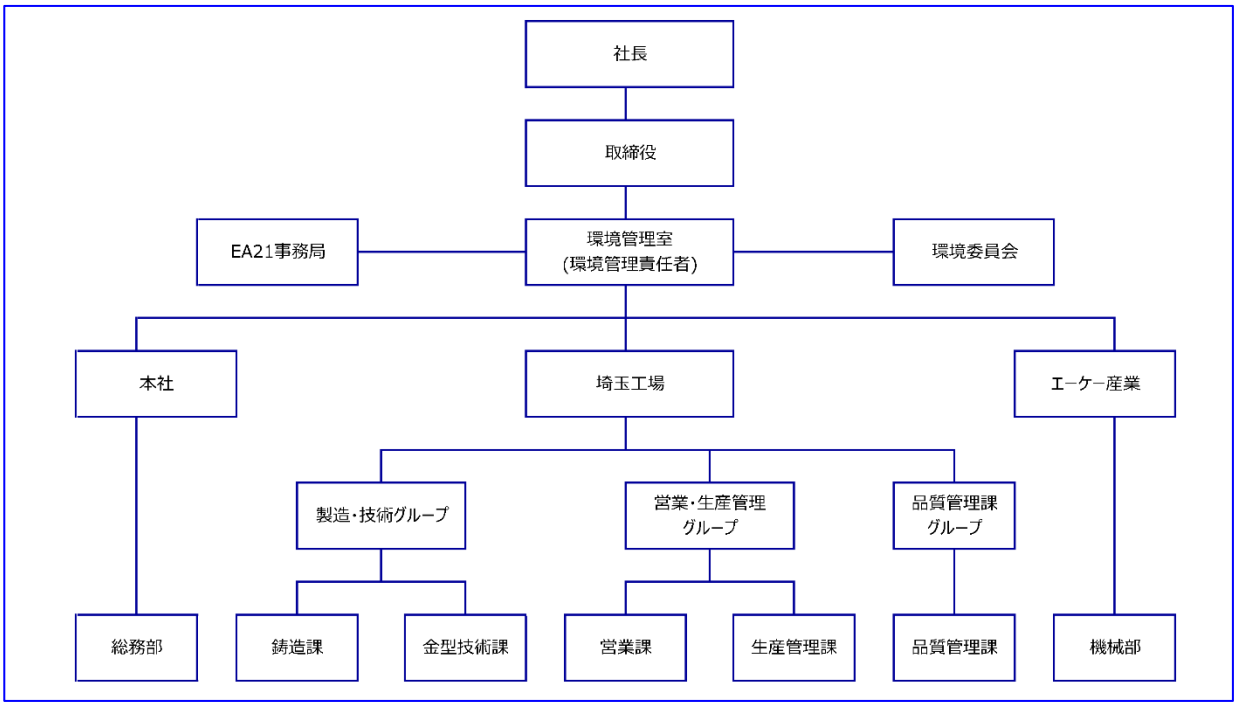
5.対象範囲

全組織，全活動が対象範囲

組　織：本社，工場，エーケー産業株式会社(機械部)

事業活動：精密小型亜鉛ダイカスト･アルミダイカスト（自動車部品，精密機器，電気通信機器製品)の製造，関連製品の金型の設計･開発及び製造.

6．環境経営組織図



役割	責任と権限
社長	環境マネジメントシステムの最高責任者として環境マネジメントを統括する. ① 環境経営方針を定める.　② 必要な資源（人，設備，費用等）を用意する. ③ EA21EMS 全体を構築及び運用に責任を持つ環境管理責任者を任命する．原則，環境管理責任者は環境管理室責任者とする.　④ EA21EMS 全体の評価と見直しを実施する．⑤ 課題とチャンスの明確化 ⑥ 実施体制の構築
環境管理責任者	環境管理責任者は，他の責任と係わりなく，以下の役割，責任及び権限を持つ. ① EA21EMS ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システム(環境マネジメントシステム)を構築し，運用する. ② 環境活動の取組み結果をまとめ，社長に報告する. ③ 環境経営方針に沿って，環境目標及び環境活動計画を策定する. ④ 法的及びその他の要求事項を特定し，周知する. ⑤ 社長不在時，環境マネジメントに関する全ての業務を代行する.
各部門の責任者	① 目標達成状況をチェックし，環境管理責任者に報告する. ② 環境マネジメントに関する教育を計画し，実施する. ③ 環境マネジメントシステムに関する取引先，又は業務委託先への協力を要請する. ④ 環境活動計画に基づき自プロセスの改善を積極的に推進する.
課員	① 環境目標，環境活動計画を実施する ② 問題がある場合のプロセス責任者へ報告する
ＥＡ21 事務局	① 各プロセスが行う負荷チェック，取組みチェック，把握評価に基づいて全体まとめを行う.
環境委員会	環境マネジメントに関して審議，決定する．(原則年２回　４月 10 月) ① 環境目標の達成状況，環境活動計画の実施状況およびその評価結果 ② 環境関連法規等に係わる業務の取りまとめ.

7．環境経営目標

①．二酸化炭素，廃棄物は 2014 年度実績の維持管理を目標とする．水の目標値は，アルミダイカストの稼働が始まったことにより，数値目標の変更を行った．

②．二酸化炭素排出係数は下記の数値を使用．

電力：0.376（2022 年度）　　都市ガス：2.23（2019 年度）

環境経営目標		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
二酸化炭素排出量の削減	電気 (単位：Kwh)	839,208 以下	839,208 以下	839,208 以下	839,208 以下
	都市ガス (単位：㎥)	43,932 以下	43,932 以下	43,932 以下	43,932 以下
	二酸化炭素 (単位：kg-CO_2)	413,510 以下	413,510 以下	413,510 以下	413,510 以下
廃棄物排出量の削減（可燃ごみ） (単位：kg)		1,010 以下	1,010 以下	1,010 以下	1,010 以下
水使用量の削減 (単位：㎥)		800 以下	800 以下	800 以下	800 以下
化学物質の適正管理		適正管理の確認	適正管理の確認	適正管理の確認	適正管理の確認
製品の環境配慮		顧客要求の使用禁止物質の不使用	顧客要求の使用禁止物質の不使用	顧客要求の使用禁止物質の不使用	顧客要求の使用禁止物質の不使用

8．環境経営計画

環境経営目標	環境経営計画（実施部門）	次年度
二酸化炭素排出量の削減	①　未使用照明の消灯（全職場） ②　冷暖房の温度管理（全職場） ③　工程歩留まりの改善（鋳造課） ④　生産設備の予防保全の実施（鋳造課）	継続
廃棄物排出量の削減 （可燃ごみ）	①　廃棄物の種類と量を把握して，リサイクル可能物を選定（全職場） ②　分別回収の徹底により，リサイクル活動の推進（全職場） ③　再生可能不燃ごみの削減（全職場） ④　分別回収の啓蒙運動（全職場）	継続
水使用量の削減	①　水道など「締め忘れ」防止（全職場） ②　節水の啓蒙運動（全職場） ③　生産設備の保守管理の実施（工場）	継続
化学物質の適正管理	①　化学物質リストを作成し，使用量を把握する．（環境管理室）	継続
製品の環境配慮	①　製品含有化学物質管理基準の啓蒙活動を行う．（環境管理室）	継続

9．環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果の評価

9-1.環境経営目標の実績

【二酸化炭素排出係数】 電力：0.376（2022 年度）　　都市ガス：2.23（2019 年度）

環境経営目標		目標	実績	達成率	達成状況
二酸化炭素排出量の削減	電気 (単位：Kwh)	839,208 以下	558,208	100%	○
	都市ガス (単位：㎥)	43,932 以下	44,779	98.1%	×
	二酸化炭素 (単位：kg-CO_2)	413,510 以下	309,967	100%	○
廃棄物排出量の削減（可燃ごみ） (単位：kg)		1,010 以下	832.5	100%	○
水使用量の削減 (単位：㎥)		800 以下	677	100%	○
化学物質の適正管理		適正管理の確認	実施状況の定期確認	-	○
製品の環境配慮		顧客要求の使用禁止物質の不使用	顧客の監査に対応	-	○

9-2.環境経営計画の取組結果と評価

項目	評価
水の使用量	目標達成
二酸化炭素排出量	目標達成
廃棄物排出量の削減（可燃ごみ）	目標達成

10.環境関連法規制の遵守状況

10-1.主な環境関連法規

主な適用法規など	該当する活動・遵守すべき内容	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 埼玉県生活環境保全条例	一般廃棄物：委託の基準 産業廃棄物：保管の基準，委託の基準Ａ,Ｂ２,Ｄ,Ｅ票の管理 廃棄物の適正管理	○
騒音防止法・振動規制法 埼玉県生活環境保全条例	空気圧縮機・ダイカストマシン・特定施設届出	○
フロン排出抑制法	漏えいの簡易点検	○
消防法	灯油：少量危険物貯蔵，指定可燃物取扱届出 危険物貯蔵所：第四類申請	○

10-2 環境関連法規への違反，訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません.

また，関係当局から違反の指摘または，外部からの苦情や要望は過去３年間無かった.

11.代表者による全体評価と見直しの結果

11-1. 全体評価

①.環境経営目標の達成状況

今年度(2023 年度)は，「水の使用量削減，可燃ごみの削減，二酸化炭素排出量の削減」に取り組んだが結果，すべての項目において目標を達成した.

②.環境経営計画の実施状況

計画通りに実施されている.

③.法規制等の実施状況

社内及び社外からの指摘及びクレーム等はなかった.

④.製品ロスの減らす運動を継続的に推進する.

11-2 指示事項

特になし.

以　上